

グラフィックデータを使ったホームページ

担当 浅井・茅根・千葉

ポイント：

- サンプルを加工したものではなく、自分でレイアウトや盛り込む内容を考えたオリジナルなページを作成してみよう。
- 自分の描いたイラストをいれる、背景に模様をつける、表を使って図をレイアウトする、など、見やすい Web ページを作成するためのテクニックを知っておこう。
- Web ページは広く「公開される」(多くの人の目に触れる)ものであることを、よく理解しなければならない。公開してはいけないもの、公開するときに注意が必要なものについて、要点を押さえておこう。

1. グラフィックを活用したページを作成する前に

【他人の著作権などを侵害しないこと】

- 漫画・アニメのキャラクタなどを許可なく使用してはいけない。
- アイドルや芸能人の写真などをむやみに使用してはいけない。
- 他人が撮影した写真・動画などを勝手に使用してはいけない。
- 他人が書いたイラスト・アニメーションなどを勝手に使用してはいけない。

【教育・研究目的の利用であることを忘れないこと】

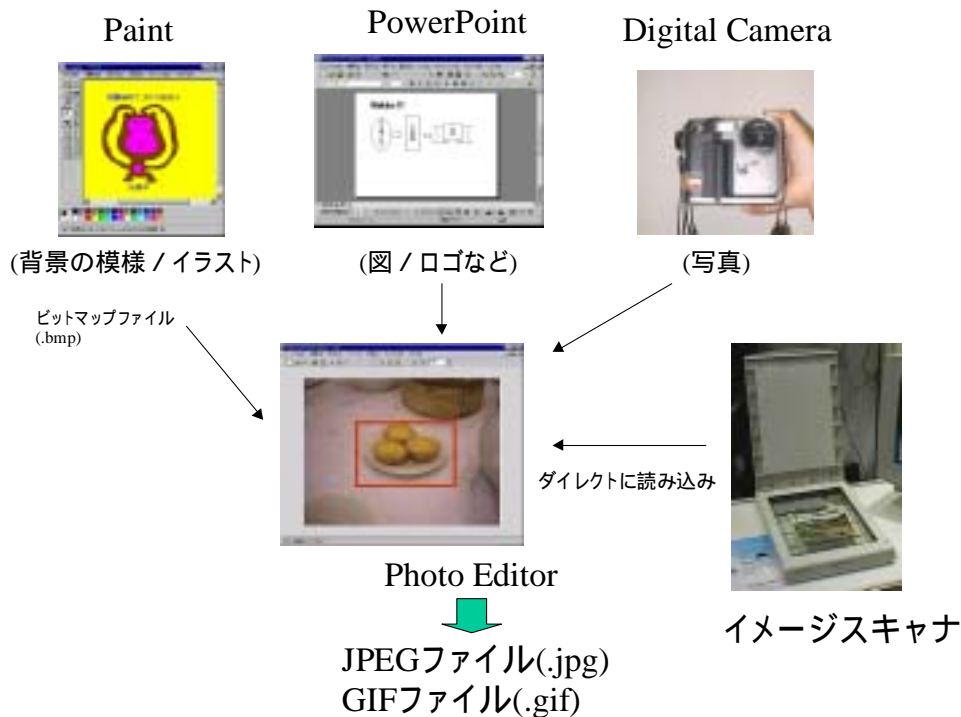
- 大学の WWW サーバは、あくまでも教育・研究目的に設置されている。
- 商売に使うなど、教育・研究目的を逸脱した利用をしないように留意すること。
- 他人に使わせたり、外部の団体等の主張を掲載したり宣伝をするために使用しないこと。

2. いろいろなグラフィックデータを扱う

- Web ページのなかで表示できるグラフィックデータの種類は、JPEG(じゅえいぺく)か、GIF(じふ)のみ。
- パワーポイントで描いた図、ロゴ、ペイントブラシで描いたイラストなどは、そのままのかたちでは、Web ページに表示できない。

2.1 グラフィックデータの形式変換

- Photo Editor は、パワーポイントやペイントブラシ(Paint)で描いた絵を開くことができる。
- Photo Editor で「名前を付けて保存」をするときに、GIF か JPEG の種類を指定してから保存する。こうすることによって、グラフィックデータの形式を変換することができる。



● グラフィックデータ作成と変換のヒント(ほんの一例)

1. イラストの作成：

- ペイント([スタート] [プログラム] [アクセサリ])でイラストを描く。
- ファイル - 名前を付けて保存で、JPEG または GIF 形式を指定する。
- Photo Editor で保存したファイルを開く。
- 必要があればトリミングをしたり、効果をつけて保存する。

2. 背景の模様の作成

- ペイントで、背景の模様を描く。
- ファイル - 名前を付けて保存で、JPEG または GIF 形式を指定する。
- Photo Editor で保存したファイルを開く。
- 必要があればトリミングをしたり、効果をつけて保存する。

3. 図の作成

- Power Point で図を作成する
- ファイル - 名前を付けて保存で、JPEG または GIF 形式を指定して、そのページだけを保存する。
- 必要があれば、Photo Editor で開いてトリミングなどをおこない、保存する。

4. ロゴの作成

- Power Point の「ワードアート」を使ってロゴを作成する



- ファイル - 名前を付けて保存で、JPEG または GIF 形式を指定して、そのページだけを保存する。
- 必要があれば、Photo Editor で開いてトリミングなどをおこない、保存する。

5. デジタルカメラでとった写真データ

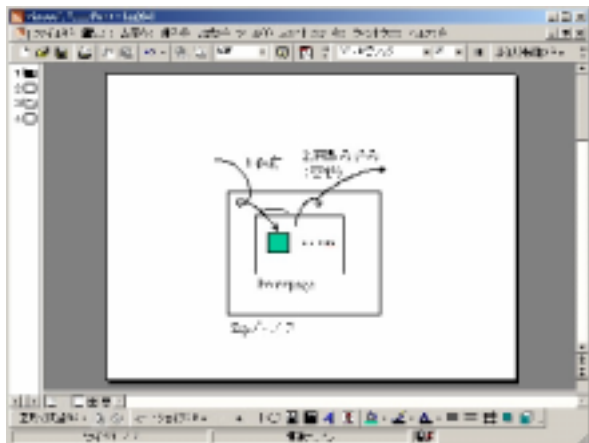
- JPEG 形式のものがほとんどなので、そのまま使える
- ファイルサイズを調べて 100KB を超すものはトリミングしたり、サイズを変更したり、色数を少なくしたりする。

6. 紙に描いてあるイラストや図、写真のデータの取り込み

- PhotoEditor にイメージスキャナからデータを読み込む機能があるので、それを使い、JPEG または GIF 形式で保存。

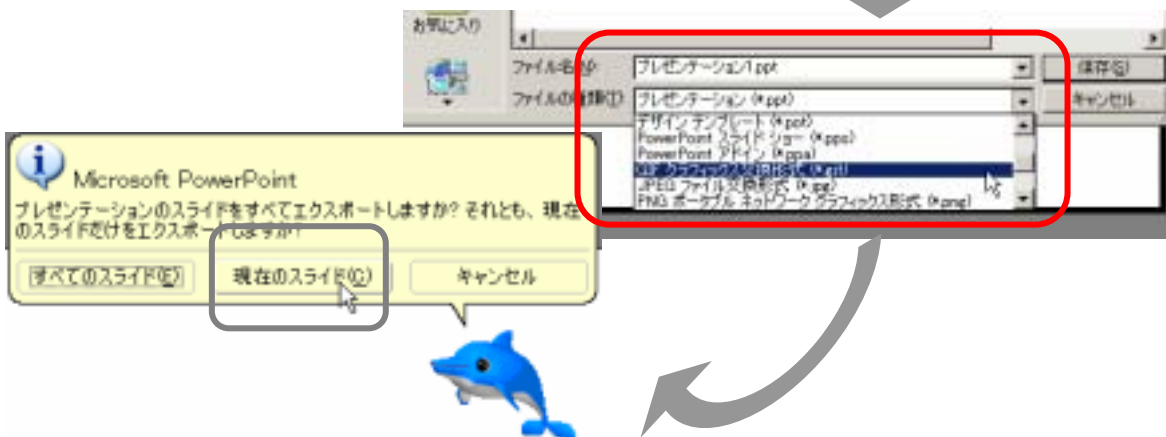
2.2 パワーポイントで図を作成する時の操作方法

- PowerPoint で図を作成する。
- 「ファイル」 「名前を付けて保存」で、JPEG または GIF 形式を指定する。



後で図を修正する可能性がある場合には、いったん PowerPoint のプレゼンテーション形式で保存し、その上で JPEG/GIF 形式に書き出すとよい。

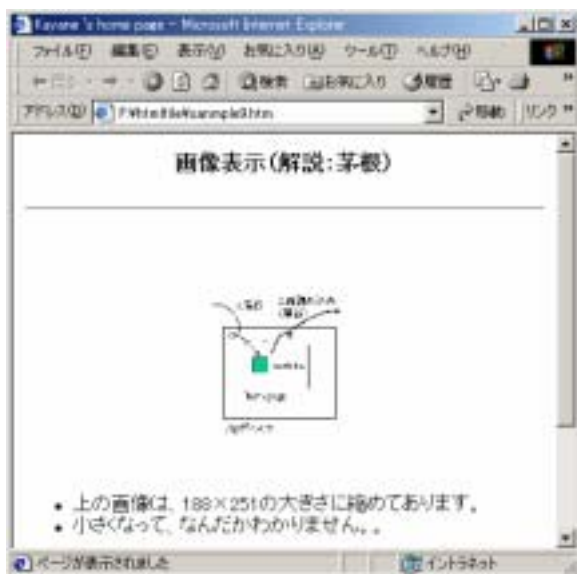
「名前を付けて保存」



これを、ホームページにそのまま利用しても、表示がうまくいかない。

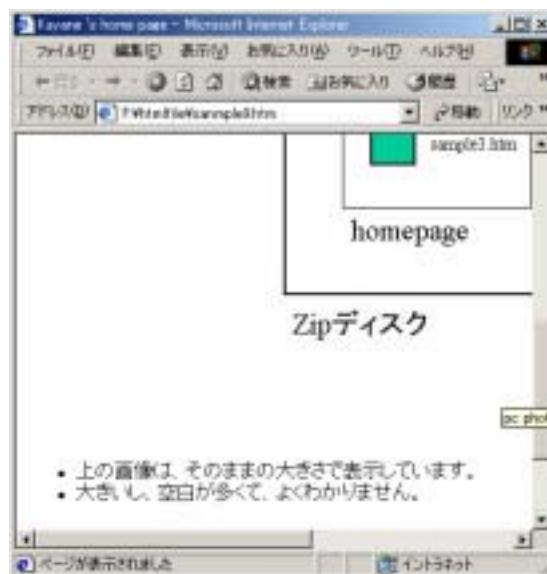
``

小さく表示されてしまう！



``

大きく表示されてしまう！



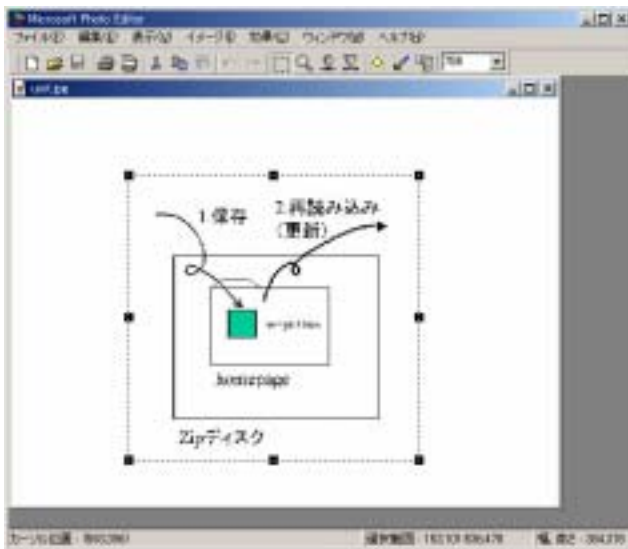
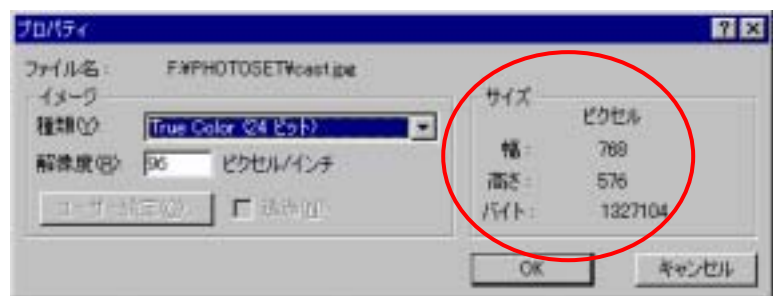


Photo Editor を起動して、ファイルを開く。

トリミングをして空白を減らす。

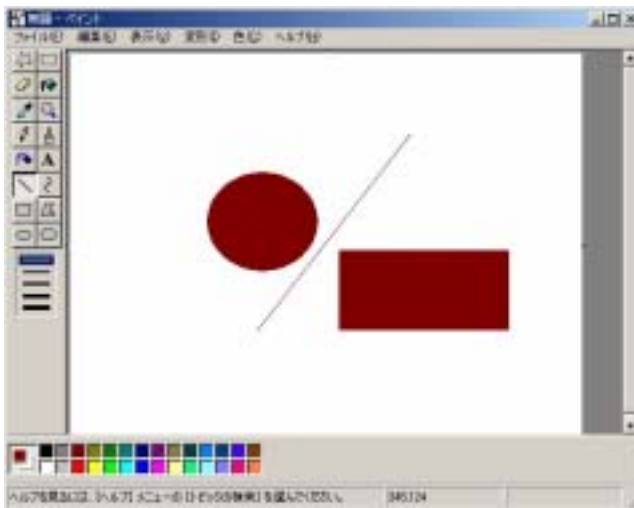
必要に応じて、画像の大きさも変更する。

- 画像の大きさの調整
「イメージ」 「サイズ変更」を開く
- 画像の大きさの確認方法
「ファイル」 「プロパティ」を開く

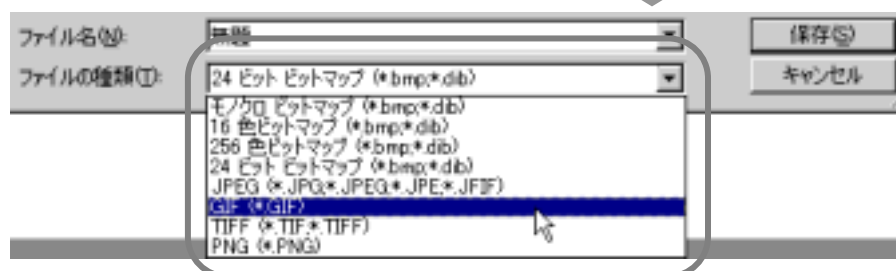


2.3 ペイントでイラストを作成する時の操作方法

- ペイントで図を作成する。
- 「ファイル」 「名前を付けて保存」で、JPEG または GIF 形式を指定する。
- 必要に応じて、Photo Editor を使ってトリミングを行う。

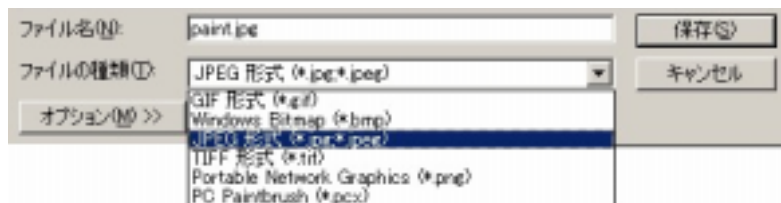


「名前を付けて保存」



2.4 ホームページで表示できない画像の変更

- ビットマップ (.bmp) や TIFF 形式 (.tif) の画像は表示できない。
- Photo Editor で画像を開き、「名前を付けて保存」で JPEG または GIF 形式を指定する。



2.5 グラフィックデータの表示方法

- HTML でグラフィックデータを表示するには、IMG タグを利用する。
- ただし、表示できるデータは、JPEG か GIF のみ。
- 同じフォルダに画像データを入れておく。(別のフォルダでも、どのフォルダにあるかを指定すれば OK)
- IMG タグは以下のように記述する。

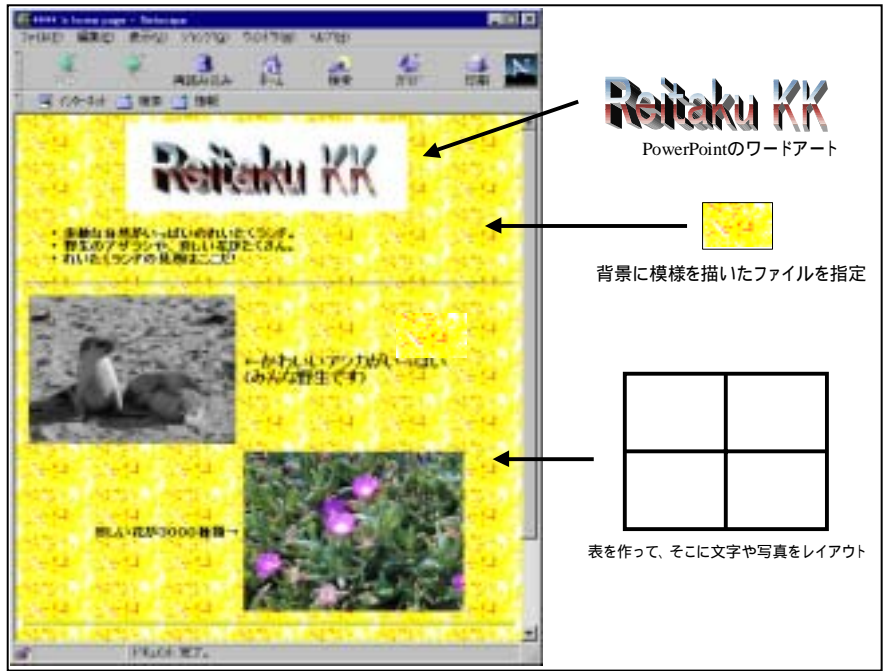
例：

```
<IMG src="unit.jpg" alt="pc photo" height="188" width="251">
```

<p>src : 表示したい画像ファイル名を指定する alt : 画像ファイルを表示しない場合 (もしくは、データがない場合)、代わりに表示する文字 height : 画像の高さを指定 width : 画像の横幅を指定 height や width を省略した場合は、画像がそのままの大きさで表示される</p>

3. Web ページ作成のテクニック

- HTML のタグを駆使すれば、すごくカッコいいページが作成できる。
- 手間をおしまず、いろいろ工夫してみよう (もちろん、内容そのものも充実させよう)
- 例えば、以下のようなことをしたいときには、どうすればよいだろうか。いくつかヒントを紹介する。上であげた画像の作成方法を活用しよう。
 - 自分の書いた図やイラストをいれる (写真以外の図をいれる) 画像として作成し、IMG タグで記述する
 - 自分で描いた絵を背景に表示する (色をつけるだけではなくて) BODY タグのなかで背景に画像を指定する (3.1.を参照)
 - ロゴマークなどをデザインして入れる 画像として作成し、IMG タグで記述する
 - 図を並べて表示する 表 (TABLE) を使ってレイアウトする (3.1.を参照)
- お手本になるようなページを探して参考にする (物まねするのではない!)
 - WWW ブラウザのメニューバーから [表示] [(ページの) ソース] と選択すれば、そのページがどういうタグをどのように組み合わせて構成されているのかを調べることができる。
- Web ページの作成方法に関するテクニックやヒントは、WWW に非常にたくさん掲載されている。検索エンジンを使って、自分でノウハウを探してみよう。



3.1 HTML のテクニックで知っておくとよいもの

- 背景の模様を指定： <BODY background="ファイル名">
例： <BODY background="back1.gif">
- 表を使ったレイアウトの指定： <TABLE> </TABLE> <TR> <TD> などを使用
例：

```
<TABLE width="458" height="337">
<TR>
  <TD><IMG src="myphoto.jpg" height="153" width="212"></TD>
  <TD align="left" valign="middle"><B> かわいいアシカがいっぱい<BR>
(みんな野生です)</B></TD>
</TR>
<TR>
  <TD align="right" valign="middle"><B>珍しい花が3000種類 </B></TD>
  <TD><IMG src="flower.jpg" height="164" width="225"></TD>
</TR>
</TABLE>
```

4.練習課題 A(本日提出)

- file_server の Home の「homepage」フォルダに保存してある sample3.htm ファイルをメモ帳で開きなさい(自己紹介のサンプル)。
- PowerPoint かペイントを利用して、自分の写真の代わりになる画像を作りなさい。(自分に見えないものでも OK とする)
- 上記の画像を、sample3.htm ファイルで表示されるように工夫しなさい。
- sample3.htm を WWW ブラウザで表示したところをブラウザで印刷しなさい。
- 印刷結果を、科目名、クラス名、提出日、学籍番号、氏名、ふりがなを手書きで記入して提出しなさい。

5.練習課題 B

- サンプルを使わないで、自分自身の Web ページを作成しなさい。
- なお、最低限、以下の要件を満たしていること。
- この授業時間中には当然終わらないので、最低限トップページ(index.htm)を次回までに作っておくこと。
- 期日(担当教員に確認すること)までに、WWW サーバ上に公開しておくこと。
 - サーバへの公開方法は、次回学習する。

Web ページ課題の条件:

- ホームページ(トップページ)が存在していること(index.htm)。
 - http://www.cs.reitaku-u.ac.jp/~自分のユーザー名/ でアクセスできること。
 - 学生用の WWW サーバ名は麗澤大学の公式ホームページのものとは異なるので注意。
- トップページには、最低限、次のものが記載されていること。
 - 誰のホームページであるのか、ということ
 - 最終更新日
 - グラフィックデータ(サイズが大きくならないように気を付けること)
 - 自分が作成した他のページに対するリンク
 - 麗澤大学のホームページ(http://www.reitaku-u.ac.jp)に対するリンク。
 - ページ作成者(つまり、あなた)に対するメール送信用のタグ
- トップページ以外に、最低 2 ページ、オリジナルなページが存在すること。
 - そのなかには、ページ作成者について紹介したページが 1 ページは存在していること(ただし、プライバシーに関わる情報を開示しないように注意)。
 - 自分が作成したページには、必ず、自分のトップページに対するリンク(「ホームページに戻る」など)が存在していること。
 - 最低でも 5 箇所、自分で探した便利な WWW サイトへのリンクを乗せていること。そのうちひとつはホームページの作成方法を説明したものであること。
 - 必ず、写真と図、イラストがはいっていること(もちろん著作権や肖像権に注意すること)
- 評価のポイントは以下の通り。
 - (1)デザインが優れているか
 - (2)ページに記載されている情報が有用で充実しているか
 - (3)著作権や肖像権などに配慮し、またネチケットを守っているか
 - (4)プライバシーの開示など危険なことをしていないか

次週までにトップページ(index.htm)を作成しておくこと。

(以上)